

# 広報 ふじかわ

6月号 46. 6. 1 発行 No. 131

## 町の人口

面積	31.09km <sup>2</sup>
人口	46. 5. 1. 15,335人
男	7,563人
女	7,772人
世帯数	3,520世帯

富士川町 企画課



## 入梅時の健康管理

これだけは気をつけよう「食中毒」

- ◆ 食事前には手を洗う
- ◆ ネズミ・ハエ・ゴキブリから食品を守る
- ◆ 汚いフキンで食器を拭かない
- ◆ 入手した食品はすぐに料理し、すぐ食べる
- ◆ 魚貝類などはなまで食べない
- ◆ 食品を冷蔵庫にながく保存しない「2～3日ぐらい」

# 議長に箕氏を選ぶ

## 初の町議会臨時会

五月六日の町議会臨時会は、選挙最初の議会で、九時から四時まで、正副議長の選挙、各種委員の選任等、人事構成を行いました。投票の結果、議長に箕武司議員、副議長には太田義雄議員が選ばれました。各種委員は次のとおりです。

### 〈常任委員会〉

#### 総務委員会

委員長 渡辺 清

副委員長 桐山良雄

委員 花田宗司

委員 森中重雄

委員 渡辺安松

委員 小永井茂作

#### 建設委員会

委員長 望月好狷

副委員長 斎藤貞次

委員 太田義雄

委員 宇佐美安雄

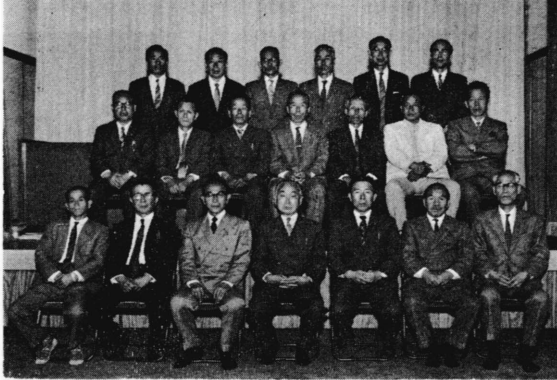
委員 渡辺清右エ門

委員 高岡太郎

#### 厚生委員会

委員長 芦川守正  
副委員長 二又川海造  
委員 佐野喜平  
委員 市川政男  
委員 斎藤昌巳  
委員 箕武司

〈特別委員会〉  
小池川改修特別委員会  
委員長 太田義雄  
副委員長 渡辺安松  
公害対策特別委員会  
委員長 斎藤昌巳  
副委員長 小永井茂作  
富士川用水特別委員会  
委員長 佐野喜平  
副委員長 花田宗司  
山砂利対策特別委員会  
委員長 市川政男  
副委員長 高岡太郎  
工業用水特別委員会  
委員長 森中重雄



前列左から 渡辺清右エ門、市川政男、箕武司、中川町長  
太田義雄、渡辺清 芦沢収入役  
中列左から 佐野喜平、二又川海造、小永井茂作、桐山良雄  
森中重雄、斎藤昌巳、芦川守正  
後列左から 望月好狷、花田宗司、斎藤貞次、高岡太郎  
渡辺安松、宇佐美安雄

副委員長 佐野喜平  
庁舎建設特別委員会  
委員長 渡辺 清  
副委員長 宇佐美安雄  
監査委員に芦川議員選任  
議会を代表する監査委員として  
中川町長は芦川守正議員を選任し  
議会の同意を得ました。  
なお、知識経験者を代表するか  
たは石川均(儘下町)さんです。

## 新議員研修会

### 予算を勉強

九名の新、元議員の研修会が、五月十日に老人福祉センターで開かれました。  
四十六年度予算を中心に、細部にわたって学習されました。

## 議会はいつでも

### 傍聴できます

議会の定例会は、毎年三月、六月、九月、十二月の四回開かれることになっています。日程は、その都度、町揭示場に告示され、住民に知らされます。

日	時間	場所	内容
4日	金	参議院議員選挙告示	
8日	火	文化教室	
9日	水	日脳	10 AM ~ 県中央図書館 二小・二中
11日	金	郡母子福祉会	10 AM ~ センター
13日	日	日脳追加	一中
15日	火	文化教室	7 AM ~ 森町
16日	水	納税相談日	役場
17日	木	自治教室	7 PM ~ センター
18日	金	家庭教育学級	1 PM ~ センター
21日	月	民生委員会	役場
22日	火	広報通信員会議	7 PM ~ 役場
23日	水	文化教室	9 AM ~ センター
25日	金	自治教室	7 PM ~ センター
27日	日	参議院議員選挙投票日	
28日	月	日脳	一幼・一小
29日	火	町議会定例会	
30日	水	日脳	松千代、北松野保・二幼

# 日軽金など視察

## 町公対連協



富士川河口のヘドロ投棄場を見る

公害対策連絡協議会は、町の各種施設、公害発生源などを自分の眼で確かめようと、五月十九日にマイクロバス二台で現地視察をおこないました。

田子ノ浦港に蓄積しているヘドロをはじめ、ヘドロ処理場、フッ化水素の発生源である日軽金銅浦原工場、フッ化水素、硫化水素、亜硫酸ガス等の大気汚染測定機

あるいは、ごみ処理施設予定地、し尿処理場、河川敷仮道路を通じて松野地区の山砂利埋蔵地など、一日がかりで踏査してゆきました

同会は、議会、各団体の役員、町等で編成されており、新しい顔ぶれも多くいますので大変熱心にメモなどとりながらの視察でした。今後の行政においてこの視察は大変参考になることでしょう。

# 参議院議員選挙は

告示 六月四日

投票日 六月二十七日

# 交通ルールを守ろう

## 歩行者交通教室

町は、蒲原警察署、交通安全協会などと共催で春の歩行者交通安全教室を五月十日から五月二十一日の間、相生町公民館などの十会場で開催しました。映画、講話などを通じて「交通ルールを守りましょう」と呼びかけました。出席者は、婦人、老人が多数で、延べ四百十数名が集まりました。

### 歩行者安全五則

一、車の直前、直後の横断は絶対にしてしない

人の歩く速度は一秒間にメートル、車は時速四十キロのとき十一メートル進みます。幅十メートルの道路を横断するには、時速四十キロで走っている車が右に六十メートル、左に百二十メートル以内にはいないことが必要です。

二、斜めの横断はしない

幅十メートルの道路を横断するとき、六十度斜めに横断すると二十一、一メートルになり、直角に横断するときより二倍以上の時間がかかり、それだけ危険になります。そのうえ左右平均に注意が配

りにくくなります。

三、夜間歩くときは懐中電灯を持ち

夜間運転者から見ると、白っぽい衣服の歩行者は四十一メートル以内、黒っぽい衣服の場合は二十メートル以内でないと見えない。そのうえ対向者のライトがあると「歩行者の蒸発現象」というものがあり、一定の距離内に入ると歩行者の姿が見えなくなってしまうことがあります。だから歩行者は車道側に当る左手にライトを持ち遠くから見えるようにすること。

四、横断はまず止つて右左を見てから

運転者が危険を感じてからブレーキペダルを踏むまでには〇、八秒かかり、十七、二メートル(速度四十キロ)走ってから止まることとなります。飛び出しは自殺行為に等しいので絶対しないこと。

五、高齢者の一人歩きは最も危険

# 印鑑登録

本人が届出を

初めて印鑑登録、または改印届(紛失、破損、変更)をする場合は、必ず本人がおでかけください。印鑑登録がなされていて、証明書が入用のときも原則的には本人ですが、どうしても本人がでかけられない理由があるときに限り、本人自筆の委任状(二十円の収入印紙貼付)をもって、代理人がおでかけください。

## 赤ちゃんを持つ

お母さんへ

赤ちゃんの発育状態を正しく知り、丈夫な子供に育てるために相談所を開きます。

六月九日午前十時より十一時三十分まで上町公会堂で上町、舟山町地区を対象に。午後一時より二時三十分まで旭町公会堂で、坂下旭町を対象におこないます。

お乳の与えかた、離乳食の与えかた、すすめかたなど、そのほか質問にはなんでもお答えします。お出かけのときには母子手帳を忘れずに。対象者以外のかたで相談したいかたもおでかけ下さい。

# 第一期分の所得税

## 減税申請は早めに

昭和四十六年度分、申告所得税の第一期予定納税額は、六月中旬に税務署から通知されます。

通知を受けた人は、その税額を七月三十一日までに納付してください。

予定納税額の通知書には、予定納税基準額と、第一期分、第二期分の予定納税額が書いてあります

予定納税基準額は、前年度分の所得金額をもとに、ことしの税法改正による諸控除の引上げなどによる減税をおりこんで前年度分の山林所得、譲渡所得、一時所得、

雑所得などの臨時的な所得を除いて計算されています。

第一期分は、七月、第二期は、十一月が納期です。

災害などで、予定納税額が通知された金額より少なくなると見込まれる人は、そのための申請を税務署にすることが出来ます。

減額の申請をしようとする人は七月十五日までに申請書を税務署に出さなければなりません。くわしいことは、町税務課または、清水税務署へ問合わせてください。

## 順調に進む

### 庁舎建築

十二月十五日完成を目標に庁舎建築工事が進んでいます。

五月二十六日は、一階コンクリート打が行なわれ、当日は、議会庁舎建設特別委員も監督、安藤建設現場担当者から、配筋、スランブ試験などについて熱心に聴き取っていました。

二階は、十二日配筋検査、十四

日のコンクリート打の予定です。

なお、庁舎、消防所は鉄筋三階建て、地下一階の延べ二千九平方メートル(約六百九坪)です。

一階は窓口関係の各課で、住民課・税務課・衛生課・収入役・出納室・消防所車庫。二階は町長・助役・総務課・企画課・建設課・公害対策室・水道課・消防所。三階は、議会事務局・教委事務局教育課・農委事務局の各行政委員会事務局が入ることになっています



感謝状を受ける二又川さん

## 新しい区長さま

### 会長に 若月氏再選

四十六年度第一回区長会は、四月十四日に役場会議室で開かれ、新区長の紹介および役員を選出しました。

役員 (敬称略)

- 会長 若月吉太郎 本通三
  - 副会長 依田宮治 東町二
  - 理事 朝比奈力蔵 儘下町
  - 古屋金雄 大北町
  - 小林武夫 八幡町
  - 谷津倉良作 室野
  - 望月 保 旭町
  - 深沢玄誠 新町四十九
  - 田村音作 本通一
- 区長 木島一佐藤喜己、小山一植松好雄

### 二又川さんに感謝状

四月二十八日に、町内のたばこ販売業者の中から、二又川リヨウさん(八幡町)が町長より感謝状を受けました。

たばこの販売は、消費税の関連から昭和四十五年、年末、年始たばこ販売コンクールがおこなわれ、成績が優秀でしたので、今回の表彰がおこなわれたものです。

## 麻薬のもと

### 庭先のけしに注意

あなたの庭にあるけしはどんなけしですか、次に示すようなけしは、麻薬のもとになりますので植えてはいけません。

特色と見分けかた

- 一、大きくなると一〜一、五cm位になる。
- 二、茎が太くしつかりしている
- 三、毛のないものが多い(ソムニフェルム種の葉茎には、まばらに小剛毛がついている)
- 四、葉は全体に平均についてありろうが附着したように帯白緑色をしている。
- 五、葉が大きく楕円形で、まわり
- 六、葉が大きい楕円形で、まわり
- 七、ソムニフェルム種の花梗は無毛である
- 八、セテイゲルム種の花梗には斜上方に出る剛毛がある
- 九、さつ果はひなげし等のさつ果に比し大きく、球形、または卵形をしており、花梗との境目に顕著な凸起(くびれ)がある。

# お年寄も学ぼう

## 各、学級スタート「教育委員会」

明治学級



社会教育事業の一環として、今年の明治学級を五月十七日に開講しました。

学級生八十名を組織して、変ぼうする社会推移の中で、人生の仕上げをより美しく、実のあるものにしてしよう。新しい社会に学ぼう。老後の人生をより健康に集りを楽しもう。家族のみんなと団らん喜びをもとう。を目標に一年間十回、講話、映画、討議、実技等を通じて勉強していく予定です。

一回目の学習会は、町長、婦人会長等の来賓祝辞のあと、掛川市教育委員会委員長の鈴木先生を講師に「私の人生観」を受講されました。

なお、学級生は六十五才し七十五才を対象に八十名でスタートします。

## 文化教室

「婦人教育の現代的な意味での充実は、どうしたらよいか」ということをテーマとして、文部省は全国に事業を委嘱しました。

県下では三市町村で、そのうちの二つに選ばれたのが当町の文化教室です。

月二回の学習会、一回の実習をおこなっています。

生徒は五十一名で発足しました。この結果は、全国の研究学級と優劣が競われます。

## 自治教室

将来、町や区のリーダーになる人たちに広く深く町の政治の内容を知ってもらい、「住みよい町づくりをしていこう」と、二十代、四十代の人たちを対象に各区の中から三十八名を生徒に、五月十九日から八月二十五日まで十一回の自治教室を開きます。

## 家庭教育学級

小学校三、四年生の子どもをもつお母さんを対象に、四十六年度家庭教育学級を開設しました。

現代の社会を知って、よい子の育て家庭環境をたしかめ、明るい家庭を育てる、をテーマに、あたたかい親子関係と家庭教育、親子の茶の間のひととき読書など、お母さんがたの学習を目的とする場です。

五月十三日に、老人福祉センターで開講式がおこなわれました。

中部教育事務所の新井先生を講師



家庭教育学級

## 婦人学級

主婦を対象に、日常生活での知識を身につけようと、五月二十四日に老人福祉センターで婦人学級を開講しました。

来年二月までの間、十回を通して主婦の健康管理、生活の中に日本語化している英語の取得、電気用具知識、使い方、修理の方法などを学んでいきます。学級生は七十六名で組織されています。

## 納税相談所 仮庁舎で

法人税、所得税、相続税、贈与税、譲渡所得など国税についての相談日は、偶数月の第二月曜日です。

どんなことでも気軽におでかけください。

次の相談日は六月十四日、午前十時から午後三時までです。

### 宝石・貴金属類は

正規の販売業者から

宝石・貴金属・べっこう・さんご・ぞうげ・しっぽう製品には二十パーセントの物品税がかかります。もぐりの宝石屋を追放するため「物品税第一種物品販売業者証明制度」を実施しています。

販売業者は取引の際「証明書」を提示することになっています。

清水税務署

## 善意銀行寄託

(1月14日～5月15日)

- 一円玉二百円 鮎川伸代 東町二
- 雑布八十三枚 永楽会 坂下老ク
- 五千円 桐谷定雄 本通一
- 雑布四百枚 幸和会 幸町老ク
- 一円玉五百円 木楽会 木島老ク
- 雑布五十枚 奉塔会 旭町老ク
- 一万円 天野千恵美東町二
- 五万円 新人町会議員一同
- 二輪車 岩山義隆 坂下

# 社会体育の振興

## —— 体育協会 ——

体育協会は、四十六年度総会を五月八日に老人福祉センターでおこないました。

本年度は、社会体育振興の重点として、社会体育行政との連携、青少年スポーツ活動の推進を軸に事業がおこなわれます。

具体的には、町と民間団体との連携、青年層のスポーツ活動参加などで、青年団、企業、団体を対象にしてのバレーボールリーグ、剣道教室の普及、体育振興こん談会等を計画しています。

また、今年で協会創立十五年を迎えますので、記念事業として、体育協会十五年史の刊行を計画、十月十日の体育の日に発行を予定しています。

なお、役員は新しい理事長に久保田幸男氏を起用して、若い力を注入しています。

- 会長 尾崎初男
- 副会長 青柳一郎
- 理事長 久保田幸男
- 常任理事 若月伸元(陸上部長)
- 望月貢(卓球部長) 斎藤三郎

(野球部長) 斎藤房治(水泳部長) 鈴木昭武(剣道部長)

望月康江、清野司、大木三山、斎藤隆、池田一郎、丸山博康

監事 望月正己、錦織孝臣

事務局長 丸山博康

北松野一前沢重雄 南松野一未定 木島一望月良広 相生町一

加藤敏治 上町一渡辺清治 舟山町一

天野達男 坂下一渡辺晏敏 旭町一

荻野治 川坂堺町一 渡辺幸一、

新町一 新町四十九一 若月章一

宮町一 渋谷弘 小池一 佐藤利雄

本通三・四一 河原函一 東町一 日の出町一

原田雅美 幸町一 山口一光

当町の優勝者は次のとおり

六十メートル 加藤正直 八秒五

百メートル 池田辰哉 十二秒〇

走巾跳 望月敏一 七m〇三

走高跳 池田辰哉 一m六五

## 県スポーツ祭

### 身障者スポーツ大会

郡身体障害者福祉会主催の、第六回スポーツ大会は、五月二十三日に二百名参加のもとに、由比小学校でおこなわれました。

町からも五十名参加してそれぞれの種目に技を競い合い、総合で準優勝に輝きました。

その結果、六月六日に県大会へ五名派遣されます。

### 社会の一員として

—— 婦人会総会 ——

婦人会の四十六年度総会は、四月二十九日に第一小学校体育館でおこなわれました。

約五百名の会員と来賓十数名参

加により、四十五年度の事業報告四十六年度事業計画、予算審議等をおこないました。

学び合う場をもち「主婦・妻・母・職業人として今日に生きる婦人の責任を認識しよう」を合いこ

とばに活動していきます。

会長 望月八代

副会長 植松かつ子 白井十世子

理事 植松美江

会計 小永井邦子

庶務 伊東す江の 宇佐実さ

生活部 太田公子 西森千鶴江

文化部 望月喜子 佐野節子

厚生部 清しず 朝比奈かつ子

会計監査 塩坂通子 望月政江



## 子どもの日

### らくがき大会

児童700名があつまって 第1小学校々庭でおこなわれました

## 最近

最近読んだ本の中以一番よかったのは、イザヤ・ベンダサン の「日本人とユダヤ人」(山本書店)である。特に面白かつたのは次のような処だ。

—— 新約聖書には、イエスへの死刑の判決は、全員一致だったと書かれている。これは当時のキリスト教徒たちが、イエスの処刑は違法だと考えていたことを現わしている。なぜなら当時のユダヤには全員一致の議決(判決)は無効、という明確な規定があった——

およそそのような意味を述べたあと、日本では全員一致こそ最高に正しく、最も拘束力があると考えられている、ユダヤ人には(すべての外国人には)日本人のそういう理屈に合わないところが、どうしても理解できないというのである。

これにはまったく一言もない。異論の存在することが、正論であるための条件であることは、近代の日本人なら、知識としては、誰でも知っている筈である。が、現実はどうか。反対意見というものには、仇敵のように憎む。どうして今日のわれわれは、こんな貧弱な精神状況に墮したのだろうか。まずは貧弱さを知らねばならない。

社会教育主事 池谷九万夫

### 青年団活動で

## 「友だちになろう」

四十六年度連合青年団がスタートしました。各専門委員を組織して活動しています。青年層はだれでも参加できるような企画してありますので、青年団に未加入である青年も行事には参加しましょう。

現在、連合青年団の支部は北松野、南松野、木島、小山、室野、相生町、新町四十九、東町の八支部で組織されています。

これからの主な行事は次のとおりです。

- 六月 パレーボールリーグ開始
- 七月三～四日 団員研修会
- 八月二十九日 体育大会一中G
- 日程未定の行事

ソフトボール大会、記念植樹パレーボール大会、お茶会社交ダンス、フォークダンスがあります。随時広報ふじかわでお知らせします。

また、県の関係でパイオニヤ大学、海上青年大学、女子研修会、運営ゼミ等の研修の場もあります

- 支部長 (敬称略)
- 北松野 宇佐美昇
  - 南松野 宇佐美嘉明
  - 木島 望月良広
  - 室野 望月康一
  - 小山 植松矢一
  - 相生町 斎藤功二
  - 新町四十九伊東康一
  - 東町 早川広己

- ### 広報通信員
- 町に対する意見や苦情、おもしろい話や行事を、次の各担当の通信員にお話してください。
- 担当地区 氏名
- 中之郷 渡辺幸一 堺町
  - 岩淵 藤島肇 坂下
  - 木島 常盤博昭 木島
  - 南松野 小林功利 南町
  - 北松野 望月俊一 儘下町

最近、県道富士川富沢線を通るダンブカーが、重量制限オーバーで往來する姿が目につきます。それにつれて木島附近の道路の破損も各所で見受けられ、中には大きな穴があいています。車を運転するにも危険が伴わない交通事故にもなりかねないので、出来れば道路の補修などをもっとお願いしたい。

### 町民の声

また、河川敷利用の車も多くなり、良く晴れた日が二、三日続くとほろが舞ってきて民家あるいは、農作物に被害がかかっています。散水は毎日続けてほしい、出来れば早く補装してください。

常盤通信員

### ▼富士川短歌会▲

## 四月詠草

天野 寛選

鈴木みつる  
山かげの薬師堂の庭に二本の小桜咲きぬ枝をうづめて  
小桜は山桜の一種であるが、薬師堂の庭に咲き盛る景観を卒直に写生している。気持よい一首。

宇佐美忠吉

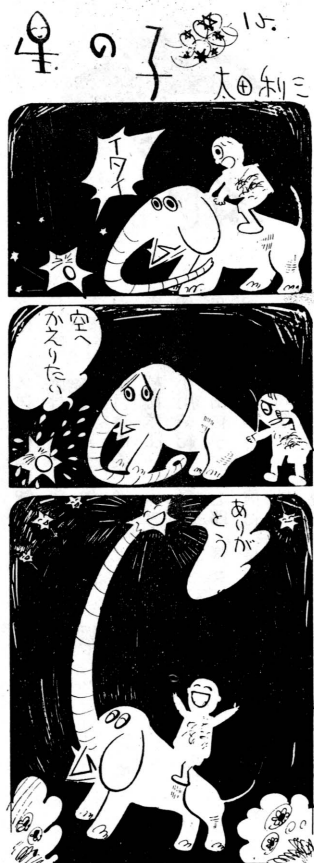
草原にひばりの声もほがらかに  
ほおかむりとるおじいさん見ゆ  
草原、ひばりの声、老人の三要素で構成しているが、何と云っても歌が大掴みになっているのが惜しい。

佐野芳江

三年毎楽しく集い思い出の語り  
い尽きぬ同窓の友  
作者の気持はよくわかるが、集い集いを歌にしようというのであるから、言葉でそう云ってしまったのでは効果がうすい。

辻すみじ

おばあちゃん只今と云ういとしさよ  
閨児のカバン背からはずして  
帰宅した閨児が目に見えるようである。しかし「いとしさよ」は云い過ぎである。



長橋安子作  
「小米桜に寄るわが写真色あせぬ  
撮りくれし人も征きて還へらず」  
植松秀子作

46・3・20〜46 5・19



(敬称略)

### 祝誕生

区名	氏名	保護者	続柄
宮町	太田正臣	智久	二男
清水町	高岡和彦	勝己	二男
南町	望月潤	清市	長男
本通四	西村征樹	雅己	長男
大北町	中島光代	秀一	長女
富士見町	小林和彦	一雄	二男
室野	谷津倉悦代	由宗	二女
小池	星崎美穂	日出男	長女
幸町	中丸崇	富一	長男
富士見町	石川友紀	栄次	長女
東町一	細川昭典	博己	二男
四十九	宇佐美哲也	忍	二男
清水町	岡野里美	栄太郎	長女
舟山町	花田裕紀	洋一	長男
〃	青柳伸	剣治	長男
宮町	石川剛	勝冲	長男
〃	平野智子	忠夫	長女
新町	山本武則	新一	長男
大北	桜井江美	洋太郎	長女

### 祝結婚

区名	新郎	新婦	旧姓
宮町	久保田健二郎	智夫	長男
舟山町	大坪龍次	康孝	長男
東町一	大貫たき子	信義	二女
旭町	望月真由美	進	二女
東町二	植松孝江	偉男	長女
儘下町	小川結紀	喜博	長女
舟山長	花田結子	七郎	長女
相生町	望月雅彦	信行	長男
舟山町	川崎信子	勤	長女
南町	鈴木丈氏	嘉之	二男
四十九	高福玲子	隆	二女
宮町	佐藤圭子	宏	長女
東町一	深沢みはる	義市	長女
〃	伊藤智史	静	二女
相生町	榊林徹	つとむ	長男
小池	吉田実	十一	三男
南町	天野孝治	定雄	長男
本通三	五十嵐准也	順信	二男
旭町	秋山歩美	哲男	二女
幸町	山田吉郎	基彦	長男
南町	宮本高広	文男	二男
四十九	多田則子	守雄	長女
東町一	鬼塚満広	明	長男
宮町	高塚浩司	信夫	長男
四十九	曾根里恵	建彦	長女
儘下町	若野裕貴	孝之	長男
相生町	小林昌彦	昌夫	長男
本通一	寒水久美子	敏之	二女
南町	多芸里加	邦芳	長女
坂下	斎藤健一	茂樹	長男

### 転出

清水町	久保田武夫	たか子	堀内
上町	新田豊	節子	新田
坂下	望月邦男	万重	秋定
東町二	望月茂樹	かつ子	望月
新町	堀沢久	みよ子	山田
南町	市川政道	ひろ子	工藤
新町	松永圭二	千枝子	望月
宮町	松沢正春	美津子	小田
小池	望月勇	好江	増田
南町	武下嘉夫	紀子	増成
日の出町	若林茂信	菊枝	山本
川坂	栗原須一	真由美	大島
上町	斎藤和博	百合子	横内
八幡町	深沢昇	美代子	渡辺
清水町	佐野幸一	久子	松下
舟山町	斎藤正憲	多美子	遠藤
室野	望月広巳	紀美恵	石川
上町	篠崎定	時代	三浦
小池	山島重治	春江	沢野
川坂	望月不二雄	すい	中沢
東町二	三浦弘和	静子	堀尾
舟山町	青柳達久	充子	日比野
南町	望月実	明美	大沢
新町	山嶋章正	律子	木村
富士見町	斎藤輝嘉	多美子	桑原
小池	森武司	君子	望月
四十九	関政義	まち子	望月
南町	望月清隆	八代美	遠藤
旭町	小久保和昭	昭子	井上
富士見町	清水俊信	絹子	中村
堺町	若月一浩	和子	内藤
南町	松下正利	喜美枝	石切山
相生町	寺下生夫	美智代	磯部
富士見町	錦織準	照子	三浦

### 祈冥福

区名	氏名	年令	
木島	丸山博康	好子	清
宮町	赤池香	弘子	野間
旭町	望月英治	靖江	加藤
幸町	宮本和博	恵美子	曲田
大北町	小林勝	裕子	吉田
相生町	望月敏夫	金枝	若田
四十九	岩崎勤	美佐子	井出
南町	井出進	由紀子	山本
大北町	沼田隆	憲子	志村
〃	望月久代	転出先	富士市
相生町	望月久代	転出先	富士市
東町二	清美代子	転出先	愛知県
南町	望月悦子	転出先	沼津市
八幡町	木伏佳代子	転出先	清水市
本通三	池上ヒデヨ	転出先	東京都
富士見町	稲葉富子	転出先	富士宮市
小池	望月優子	転出先	清水市
上町	高橋静	転出先	清水市
幸町	志村淳子	転出先	東京都
富士見町	久保田昌宏	転出先	清水市
日の出町	斎藤秀雄	転出先	清水市
堺町	小笠原勘吉	転出先	清水市
東町二	天野千恵美	転出先	清水市
相生町	斎藤和子	転出先	清水市
富士見町	井出てい	転出先	清水市
小池	加藤秀吉	転出先	清水市
儘下町	朝比奈清	転出先	清水市
舟山町	丸山阿き	転出先	清水市
堺町	若月房夫	転出先	清水市
日の出町	石川正信	転出先	清水市